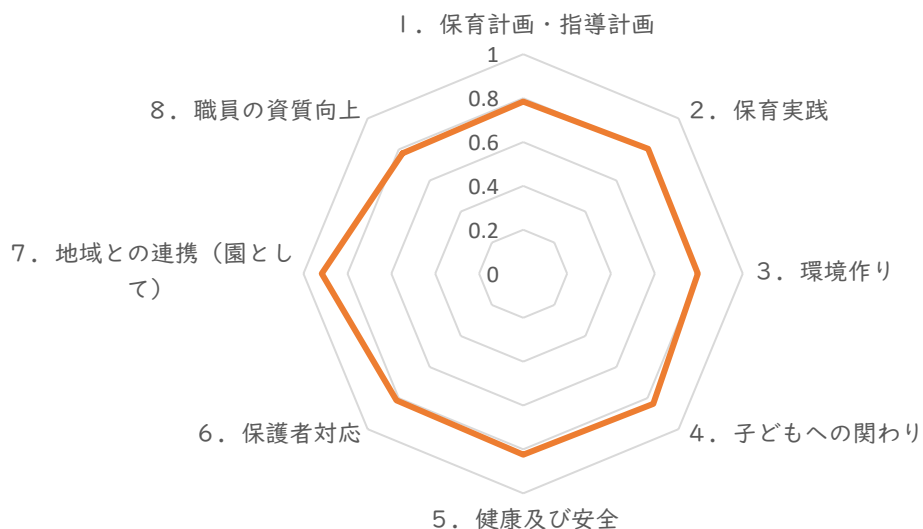


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。

子生和保育園の自己評価



【総評】

- ・一人一人の気持ちに寄り添った丁寧な保育と子ども達の豊かな経験が実現できるよう職員のチームワークや意識の共有を大切にし、協力して保育を進めてまいりました。また、保育士同士が互いに意見を出し合い、子ども達の姿を多面的に捉えていけるようにする意識が定着してきました。
- ・地域交流については小学校や老人施設との交流を実施したり、園庭開放等で来園する地域の親子も増加し、日常的に園児との関りも生まれたりして、地域とのつながりを幅広く充実させることができました。

【今後の課題】

- ・保育理念や保育の方向性を基に隔たりがないよう園内外の研修を充実させ保育スキルの底上げと日々の振り返りの徹底を行っていきます。
- ・地域交流の取り組みについては、十分に保護者の方々と共有するまでには至っておらず次年度はより一層の交流の充実と情報発信に力を入れ、地域に根差しての開かれた保育園としての機能についてわかりやすく伝えるよう努めてまいります。



夏まつり



朝顔の種取り



小学校交流